

教育センターだより

「令和元年度 全国学力・学習状況調査」報告書をご活用ください！

香川県教育センターでは、令和元年度全国学力・学習状況調査の結果を分析した報告書を作成しました。この報告書は、各小・中学校等に送付し、Web サイトに活用ツールとともに掲載しています。自校の結果を分析する際の参考にし、今後の取組の改善に役立てていただきたいと思います。

報告書の作成にあたっては、以下の点を工夫しています。

- ・過去5年間の調査で明らかになった本県の課題に関わる質問項目について、全国との比較及び経年変化等で示し、結果や傾向についてまとめています。
- ・特集では、新学習指導要領のキーワードである「主体的・対話的で深い学び」「カリキュラム・マネジメント」について示しています。また、本年度から新たに追加された英語の調査結果を基に、「中学校英語の現状と課題」についてまとめています。

全体的な状況

教科に関する調査結果については、小学校では、国語、算数ともに全国平均を上回りました。中学校では、国語、数学で全国平均と同等であり、英語で下回りました。

無解答率が全国を上回る問題数は、小学校では全28問中1問(3.6%)、中学校では全47問中35問(74.5%)でした。内訳を見ると、小学校の国語で1問(7.1%)、算数で0問、中学校の国語で7問(70.0%)、数学で9問(56.3%)、英語で19問(90.5%)でした。調査区分が変更になったため、昨年度との比較はできませんが、特に中学校の国語と英語において、無解答率が全国平均を上回る問題が多くなっています。

香川県重点項目に関わる質問項目では、「^{□16} 人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度と比較して高くなっており、過去5年間で最高の値となっています。また、「^{□15} いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で97.6%、中学校で95.3%と高く、小・中学校ともに全国を上回っています。

教科に関する調査結果

【平均正答率】

調査区分	小国語	小算数	中国語	中数学	中英語
県(公立)	65	68	73	60	55
平均正答率(%)					
全国(公立)	64	67	73	60	56
平均正答率(%)	(63.8)	(66.6)	(72.8)	(59.8)	(56.0)
県と全国との差(pt)	+1	+1	0	0	-1

※ 香川県の平均正答率については、文部科学省から提供されている整数値で示しています。

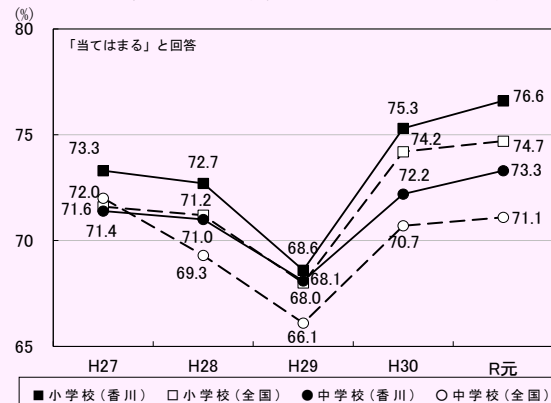
※ 中学校英語の調査結果は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計しています。

【無解答率が全国平均を上回る問題数】

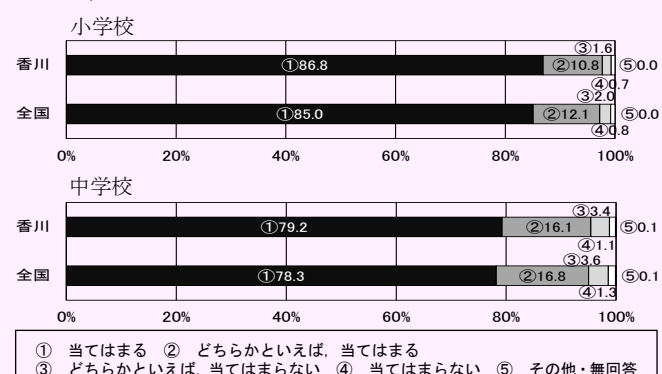
	問題数(問)	全国平均を上回った問題数(問)	割合(%)
小国語	14	1	7.1
小算数	14	0	0.0
中国語	10	7	70.0
中数学	16	9	56.3
中英語	21	19	90.5

児童生徒質問紙調査結果

□16 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



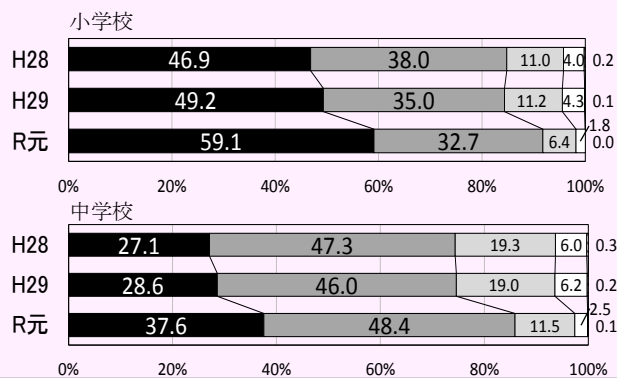
□15 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



質問紙調査結果より

「□7 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」の質問に肯定的に回答した児童生徒の割合は、平成28年度、平成29年度と比較して増加しています。また、各教科の平均正答率との関係を見ると、小・中学校ともに肯定的に回答した児童生徒ほど平均正答率が高くなっており、個に応じた粘り強い丁寧な指導を続けてきた成果が表れています。学力の向上には、基礎・基本の習得が欠かせません。基礎・基本を確実に定着させ、習得した知識・技能を豊かに活用する場面を設定するなど、児童生徒一人一人の着実な伸びを目指した指導の工夫を進めていきましょう。

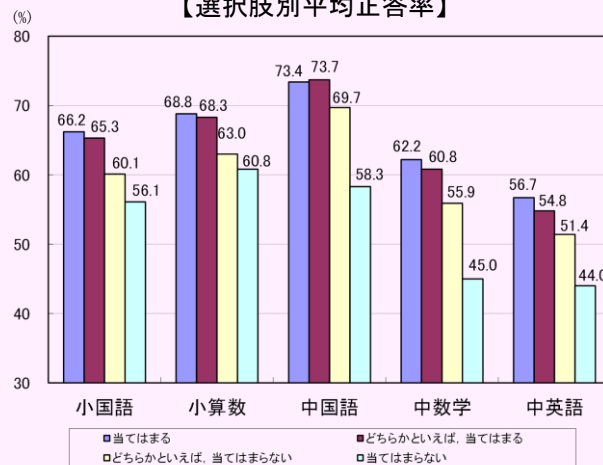
□7 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

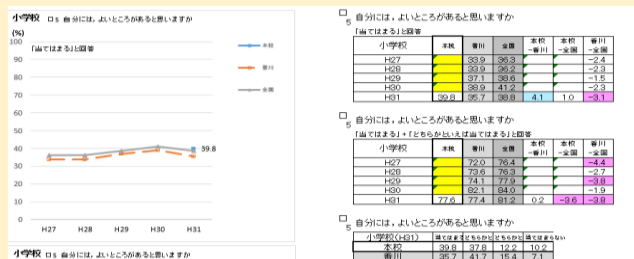
H30は、該当する質問無し

【選択肢別平均正答率】



「活用ツール」を使って 自校の状況を確認してみませんか？

「活用ツール」(Excel ファイル)を使えば、全国と香川県の状況に加え、あなたの学校の状況をグラフ等に表すことができます。調査結果を分析し、組織的かつ計画的に教育活動の質の向上を図る取組を進めていきましょう。



学校の取組と、児童生徒の意識の変化や教科に関する調査結果との関連など、カリキュラム・マネジメントの充実に向けて、ぜひ、ご活用ください。

「報告書」と「活用ツール」を基に 授業改善等に取り組んでみませんか？

香川県教育センターでは、「令和元年度全国学力・学習状況調査報告書」及び「活用ツール」に基づいて、学校の成果や課題の分析、授業改善のための校内研修等のお手伝いをさせていただきます。具体的な支援の内容は下記のとおりです。

【支援内容(例)】

- 「活用ツール」へのデータの取り込み
- 香川県全体の傾向と課題についての説明
- 「活用ツール」及び「報告書」に基づき、各学校の調査結果を分析(調査問題、質問紙)
- 各学校の取組に基づいた改善策の検討 等

香川県教育センターWebサイトの「研修サポート」から、指導主事の派遣を申請することができます。研修等の内容、日時、時間については、相談の上で決定いたします。

児童生徒一人一人の学力向上を目指し、一緒に改善策を考えていきたいと思いますので、「活用ツール」と併せて、ぜひ、ご利用ください。

香川県教育センター 研究発表会

◆日時：令和2年2月14日(金) 12:30~16:25(予定)

◆場所：香川県教育センター

調査研究発表

- 個別最適化された新たな学びに関する調査研究
- 情報教育に関する調査研究
- 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析

講演

講師：泰山 裕 先生

鳴門教育大学大学院 学校教育研究科 准教授

演題：「思考力」の追究から新しい時代を拓く (仮題)
—思考スキルの視点から子どもの学びを捉える—

〈参加申込方法〉1月上旬、香川県教育センターWebサイトに掲載します。

希望参加の研修〈公開講演〉をご活用ください



基本研修や職務研修等でお招きする著名な講師の講演については、関係研修の受講の有無にかかわらず、希望により聴講することができる公開講演としています。積極的に参加いただき、日頃の実践に生かしてください。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
令和元年5月17日（金）

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて
ー思考ツールの効果的な活用を通してー」

鳴門教育大学大学院学校教育研究科准教授 泰山 裕 氏

この専門研修では、鳴門教育大学の泰山裕准教授にご講演いただきました。「思考スキル」という視点を用いて、子どもの「考える」を分析し、支援を明確にするというお話は、大変印象的でした。また、思考ツールを用いた演習を交えながら、ツールの適切な扱い方も学ぶことができ、今後の授業実践につながる様々なアイデアや刺激を得ることができました。



泰山 裕 氏

令和元年度香川県教育センター研究発表会（令和2年2月14日）では、泰山裕先生に再度講演をいただき、「主体的・対話的で深い学び」にさらに深く迫ってまいります。

〈参加者の感想〉

「考えるということはどういうことなのか考え、思考スキルについて学んだことで明日からの授業で子どもへの問いかけを具体的にしようと思えた。」
「実際に思考ツールを用いながら、思考を可視化、具体化することの良さを感じた。思考ツールが目的にならないよう、教師が何を考えさせたいかをしっかりともち、授業をしていきたいと感じた。」

新任校長・副校長・教頭研修会（小・中・高・特）
令和元年7月25日（木）

「働き方改革と学校管理職のリーダーシップ」

愛媛大学大学院教育学研究科教授 露口 健司 氏

この研修会では、愛媛大学大学院の露口健司教授にご講演をいただきました。

働き方改革というテーマについて、豊富なデータを様々な視点から捉えることで、教員独特の職業観や仕事のやりがいの感じ方などを浮き彫りにし、我々に必要な働き方改革とはどのようなものか、ということを改めて考えるヒントをいただきました。

また、最後にはリーダー論についてタイプに分けてお話いただき、自己の思い描くリーダー像と重ね合わせながら考えを深めることができました。

明快でユーモアあふれるお話ぶりに引き込まれつつ、学校運営のポイントを学び、充実した研修となりました。



露口 健司 氏

〈参加者の感想〉

「教師としての働き方改革について納得することが多かった。時間だけでは考えられない私たちの働き方について、学校に持ち帰って生かしていきたい。」
「〇〇型リーダーという捉え方について、これまであまり意識したことがありませんでした。自分を振り返り、これから考えていくことのヒントをたくさんいただきました。」

今後の公開講演の予定（お申込み方法については教育センターWebサイトをご覧ください。）

- 令和元年11月14日（木） 「特別支援教育（発達障害）」 香川大学 教授 坂井 聡 先生
- 令和元年12月25日（水） 「社会に開かれた教育課程とカリキュラム・マネジメント」 甲南女子大学 教授 村川 雅弘 先生
- 令和2年 1月 6日（月） 「食育推進の現状と課題」 (株)オフィス弁当の日 代表取締役 竹下 和男 先生

教育センターの相談窓口

教育センターでは、子どもや保護者、教職員からの学校教育、家庭教育に関する悩みの相談に応じています。以下の相談窓口をご活用ください。保護者にも、ぜひご紹介ください。

電話相談

子ども電話相談

087-813-3119（子ども専用）
＊相談時間 9:00～21:00（通年）

子育て電話相談

087-813-2040
＊相談時間 9:00～21:00（通年）

24時間いじめ電話相談（24時間子供 SOSダイヤル）

087-813-1620
0120-0-78310
＊相談時間 24時間（通年）

子どものネットトラブル相談

087-813-3850
＊相談時間 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
9:00～17:00



＜お礼＞

今年度配布した教育相談カードの誤記に際し、訂正等の対応をしていただきありがとうございました。

来所相談

087-813-0945（予約受付）

＊相談時間
月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
9:00～17:00
第2、4土曜日（祝日・年末年始を除く）
13:00～17:00

メール相談

kesoudan@kagawa-edu.jp

FAX 相談

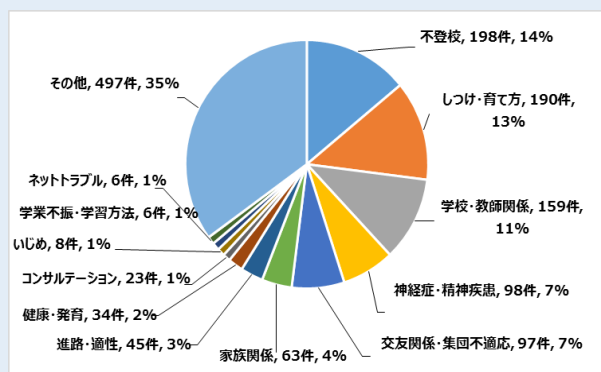
087-881-3272

コンサルテーション

087-813-0945（教育相談課）

令和元年度4～7月 相談状況

相談件数 1,424件（7月31日現在）



主訴「不登校」のうち、約6割が来所による相談です。

①来所相談が約1.3倍に増加

保護者との相談とともに、子ども本人との相談も増えています。保護者には打ち明けにくい悩みを、相談員が別室で聴き、心の安定を図ることもあります。来所では、小学生に関する相談が最も多く、次いで高校生、中学生の順になっています。

②共感を大切に子どもへの関わり

不登校をはじめとした、さまざまな困難に直面した子どもを支えるために、まずは子どもの言葉をよく聴き、気持ちに寄り添うことを大切にしています。自信を失い、自分を責めてしまっている子どもに対しても、ありのままの子どもの気持ちをゆっくりと聴くことで受け入れつつ、子ども自身の良いところに気づかせていくような関わりを行っています。

子どもたちの未来の姿を描き育てる学校・教職員のバックアップ

香川県教育センターWebサイトの紹介

香川県教育センターでは、Web サイトを通じて各種の情報サービスを提供し、県内各学校と教職員の皆様の教育活動を支援しています。ご活用ください。

香川県教育センター 検索



香川県教育センター

例えば…、このようなページがあります！

トピックス 随時、更新中！

お勧めのページや最新の情報は、この部分にスライドでお知らせしています。

この部分のボタンをクリックすると、それぞれのページにジャンプします。

ページの一覧から、目的のページを開くこともできます。

研究成果

調査研究報告書や研究資料、リーフレットなどの教育情報をダウンロードできます！

オンライン研修

自己研修や校内研修のためのアイテムのひとつとして、研修教材を提供しています！

小学校プログラミング教育

小学校プログラミング教育の指導資料や研修サポートについて紹介しています！

指導案・実践事例

県内の先生方からご提供いただいた学習指導案等を参考にすることができます！

教育ライブラリー

教育ライブラリーは、土曜日も開室しています。図書検索システムもご利用ください。

これらの他にも、公開講演の聴講申し込みや、学校に指導主事を派遣する「研修サポート」、退職教員等を派遣する「学びの支援隊」等の各種事業に関する情報を提供しています。教育に関する情報が必要なときには、Web サイトをご覧になるか、直接電話でご相談ください。

ログイン

非公開エリアのURLです。
指定したURLに移動するには、ログインが必要です。

ログインID

パスワード

ログイン キャンセル

教育センターWeb サイト内のページには、香川県の公立学校等の教職員向けに限定して公開しているページ（非公開エリア）があり、左の図のように、ログインIDとパスワード入力が必要になります。（※今年度は、平成31年4月15日付文書[31 教セ第266号]で各学校にお知らせしています。）

お知らせ

香川県教育センターでは、令和2年度から『教育センターだより』と『要覧』の印刷・配布を止め、Web サイトへの掲載のみによる提供とします。